

コフロック社長

小島 望氏



「半導体製造装置や、半導体製造で使う付帯装置向けなどに流量計を展開しています。」

「半導体の前工程の装置は動いているものの、周辺の付帯装置は今ひとつの印象を持っている。回復が2025年と言われる中で、見越して動く企業がある一方、そうでもない会社もある。」

「半導体製造装置や、半導体製造で使う付帯装置向けなどに流量計を展開しています。」

「事業の見通しは。」

「2025年3月期は過去最高の売上高だった前期を若干上回る計画で進めている。窒素や酸素などを生成するガス発生装置の引き合いは数年前と比べて一段上のトレンドに入った。エネルギー価格高騰や脱炭素化の流れの中、窒素や酸素を内製化したいニーズが顕在化している。」

社会課題に挑戦続ける

「流量計とビジネスモデルが異なり、競合と差別化できるメンテナンスサービスも拡充していく」

「今年で創業75周年を迎えました。」

「流体を科学する企業として社会課題にチャレンジしつづけて、流量計とガス発生装置だけでなく、エンジニアリングなどの特徴も生かして貢献していく。持続的な成長に向け、若者が継続して働きやすい環境づくりや仕組み作りを加速するほか、外国人材の活用にも力を入れていきたい」